



今号でJ E F N E W Sは100号となりました。私が教職員連盟に加入したころはB 5版で、ページ数ももっと少ないものでした。配布方法も希望者から購読料を取っていたように記憶しています。また、クイズがあり正解者に景品が贈られたこともありました。私が編集に携わってから約20年になりますが、最初の頃は年3回発行でした。印刷方法も今と違いますので、写真を多くすると経費が上がってしまうという時代でした。今はIT化の進歩と言うのでしょうか、技術の発達・変化で割と自由にレイアウトが出来るようになりました。

J E F N E W Sは機関誌ですので教職員連盟の活動や主張を会員の方々に連絡・伝達することを主な目的としますが、会員の情報を宣伝することも大切な役目だと思います。そのような意味で支部連盟レポートを掲載した時期がありました。しかし、なかなか記事が集まらずに、現在は休止しています。会員数の少ない支部では夏の大会に出る事のみが活動の実態、というところもあるでしょう。多くの支部がその活動を広く知らせることで、自分たちでもできる活動が見つかるかもしれません。会員が自校や地域でおこなっている指導を公開して下さってもいいと思います。会員相互の交流という意味で、いつかまた支部レポートを復活させたいと思っています。

現在は夏号では「研修会報告」を中心に、冬号は夏の大会の結果や総会報告を中心に記事を組んでいます。内容としてはHPと重なる部分が多いので、経費削減の意味と合わせてJ E F N E W Sは縮小あるいは廃止してHPに移行してもよいのではないかと、という意見もありました。しかし印刷物を自分の手に取って中身を確認するという、また印刷されたものが手元にあるということに大きな意味があると思います。

今まで連盟発展のツールとしてJ E F N E W Sは大きな役目を担ってきました。しかし、まだ出来ることがあるような気がします。ぜひ皆さんからもご意見やアイデアを頂きたいと思っております。

巻頭言	目次
平成二十七年 度 総会資料	
総会議事録	
平成二十六年 度 事業報告	
平成二十六年 度 決算	
平成二十七年 度 事業計画	
平成二十七年 度 予算	
平成二十七年 度 登録一覧	
第五回全日本教育系学生大会要項	
第五十四回大会資料	
今大会を顧みて	
レフェリー報告	
平成二十七年 度 表彰者一覧	
総合順位	
成績表	
団体戦	トーナメント表
個人戦	トーナメント表
表紙の人	
派遣審判員一覧／閑話休題	